

件名: 6年4月会長通信 こころの勉強

6年4月会長通信

こころの勉強

人は迷いの中にいます。良い本があれば感動し、良い話しを聞くと素晴らしいと思う。しかしこの中に自分がない事に気がつきます。何の為に生き方を勉強するのか。最近青山俊董(あおやましゅんどう)の本を読み、CD、DVDを聞いてやっと気がついた事があります。人は何も勉強しなければ「貪・瞋・痴」(とん・じん・ち)になります。何の勉強をするのかと言えば生き方です。「貪・瞋・痴」(とん・じん・ち)は闇の世界です。不安や悩みはほとんどが、この「貪・瞋・痴」(とん・じん・ち)の世界です。前月の会長通信でも言いましたが、「貪・瞋・痴」(とん・じん・ち)の反対は「褒める許す感謝」です。いかがでしょうか。「褒める許す感謝」は光の方向です。青山俊董(あおやましゅんどう)は「選べ選べ選べ」と言います。「選べ選べ選べ」とは何を選べと言っているとお思いでしょうか。実は私たちは一日一日ひとつひとつ選んで行動しています。その前に頭の中でいろいろの思いも実は選んでいます。人は放っておくと「貪・瞋・痴」(とん・じん・ち)の闇の世界にいます。自分自身意識して「褒める許す感謝」の光の方向に向かわせるのです。人は知らず知らずのうちに不幸せの方向を選んでしまいます。

社内の中で多くのトラブルが発生しています。私は約35年前に波場 武嗣より「命それは光であり法則であり愛である、人は愛を学ぶ為に生まれ、生かされて生きる命である」を学びました。しかしこの意味がなかなか理解出来ませんでした。

実はいろいろな勉強をしても自分のこころの受け皿が10だったら100の話も勉強も10しか理解できません。孔子は60にして耳従うと言いましたが、それほど人の話を自らの血と肉にすることが難しいと思います。最近波場 武嗣の法則、光、生かされて生きるがやっと解ってきた様に思います。青山俊董(あおやましゅんどう)の基本は法です。宗教も各々の聖人が作ったものではありません。実はそれ以前から厳然として存在していたのです。それを見つけたのがお釈迦さま、キリスト、マホメット等です。ニュートンの引力と同じです。原理原則は何億年前から存在するのです。その基本は生かされて生きるです。会長通信前月号にも書きましたが生かされて生きる私を見つけるのです。人は放っておくと心に雑草が生えます。雑草を生やさずに光に満たすのです。闇から光です。

何を選ぶのかと言えば、一日一日今このとき光の方向を選ぶのです。勉強して自分の足りないところに気づくのです。それも10の容量の人は日々こころを成長させ受け皿を深めるのです。

人はみんな幸せを求めます。ダスキン経営理念に物心ともに豊かになり(物も心も豊かになり)とあります。実は物と心が同列に扱われていますが、これでは勉強をしていない私たちは物が80%になってしまっています。意識的に心を80%にするのです。物の豊かさより心の豊かさの方が上回らないと本当の幸せはやってきません。心を豊かにするのは心を光の方向にむけ、何億年とかけてきた生かされている命の尊さを実感することなのです。

修養訓（致知出版社）「人間を滅ぼす三つの毒」より引用 著者：藤尾秀昭氏 お釈迦さんは、人間を滅ぼす三つの毒があると言っています。「貪（とん）」は貪（むさぼ）る心、欲望ですね。次から次に欲望を抱いていく、それが人間を滅ぼす。「瞋（じん）」は怒り。人間は自分の思いのままにならないことを怒り、恨みます。「痴（ち）」は愚痴。なんで愚痴がでるかということ、正しいことを見きわめられない愚かさから愚痴が出る。

社内に寝る許す感謝が蔓延する会社にしたい。トラブルがない会社にしたい。その為にはもっともっと勉強しなければなりません。何を勉強するのかといえば、ラジオ深夜便藤尾秀昭は横軸だけの価値観から縦軸の価値観へとクロスさせることと言ってます。横軸は知識です。私たちがいえば商品知識です。縦は人間性、人間力、生き方です。自分が定まらないとせっかく多くの時間を要して獲得した知識が無駄になってしまいます。稲盛和男の人生、仕事の結果＝考え方×熱意×能力は実は人生、仕事の結果＝人間力×熱意×能力に置き換えることが出来ます。

まず闇ではなく光に向かって歩いて下さい。光に向かって歩くと自然と契約がとれます。お客様が安心するのは、安心とは心がやすらぐと書きます。不安はやすらがないと書きます。いつもやすらいでいる人にお客様は来て貰いたいのです。レンタルも営業もしやすくなります。人生が楽しくなり、店の雰囲気よくなります。是非とも自らの心の容量を高めて下さい。人生を勉強して下さい。到知を読んで下さい。歴史を勉強して下さい。いつも光に向って仕事をして下さい。皆さんと共に学んで笑顔いっぱいの会社にしたいと思えます。